

「がんかわら版 出前屋」プロジェクト前期実施報告書

此のプロジェクトに関しましては、昨年度期末期にご紹介させて頂きました、「地域発：がん対策市民協働プログラム」の一環として「市民医療協議会がん政策情報センター」の助成に依りスタート致しました。

本プロジェクトは端的に申し上げますと、がんに関連する様々な情報に手が届かない県民(がん患者関係者も含めた生活者)へ必要な情報をお持ちしながら、人のネットワークを構築する事を最終目的としたプロジェクトです。

二月宮古地区を皮切りに、今年度重点地区とさせて頂きました、八重山・与那国地区、両大東島を訪ねさせて頂きました、ワンクールが終了致しましたので実施報告書に纏めさせて頂きました。

○各地区データ(訪問時期・訪問場所・配布資料数・来場者数)

①宮古地区(実施期間 2/24~28)配布資料数約 380 部

多良間島※₁ 19(2)・伊良部島Ⅱ 10(3),12(2)・宮古島※₂Ⅱ 26(3).8

②八重山・与那国地区(実施期間 3/29~4/6)配布資料数約 600 部

与那国島 14(3)・鳩間島 15(5)・西表島※₃Ⅲ 13(1).12(1).18(3)・黒島 3(2)・小浜島 6(1)・石垣島Ⅱ 8(1)・波照間島 5(2)・竹富島 3

③両大東島(4/20~22)配布資料数約 210 部

南大東島 6(1)・北大東島 19(3)

※₁ シルバーセンターより二名のサポーターの支援を戴く。

※₂ 宮古市健康推進センターより二名のサポーターの支援を戴く。

※₃ 民間のボランティアサポーター、二名の支援を戴く。

○ワンクールを総括致しますと

総開催場所数 18ヶ所

開催場所の内訳 民間スーパー・商店等 16ヶ所、公共関連 2ヶ所

総来場者数 220名(平均 12.22名)

総配布冊子数 1190部(一人当たりの平均配布数 5.4部)

配布実施平均時間 3.67時間

○ワンクール実施後の反省と課題

- ・各離島の就労内容に置ける時節(サトウキビ借入時期等)に対する配慮。
- ・今後の提供情報物に関する問題。
- ・開催場所の増設が必要と考えられる地区、与那国・石垣島・宮古島で 1~2か所。
- ・サポーター等支援者の人のネットワーク造りに関する働きかけを如何図るか。

以上

「がんかわら版 出前屋」代表 三木雅貴 事務局 那覇市松川 2-4-10-902

T&F 098-884-0345 E-mail inomiki1104@ea.ocn.ne.jp